

分野	荒廃産地の復旧等の治山			事業番号	4	事業名	山地治山(予防治山)				
市町村名	小川村	ふりがな 箇所名	なかお 中尾			事業年度 (完了年度は見込み)	H25 年度～		H25 年度		
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)		財源内訳(千円)				
	全体	溪間工(谷止工2個) 森林整備(本数調整伐)1.00ha			25,600		12,800		11,520	1,280	
	H25年度	同上			25,600		12,800		11,520	1,280	
箇所評価	区分	評価項目・指標等			評価				ランク	評点	
	(20)	必要性	保全対象人家	■ 10戸以上	□ 1～9戸	□ 0戸	A				5
		保全対象公共施設	□ 2箇所以上	■ 1箇所	□ なし	3					
		保全対象に災害時要援護者関連施設があるか	□ 重要施設	□ 一般施設	■ なし	0					
		保全対象(保安林・林業用施設)	■ 「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上	□ 保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり	□ 保安林率30%未満	7					
		小計									15
	(15)	重要性	過去の災害履歴	■ 過去5年に1回以上	□ 災害履歴地	□ なし	C				5
		交通遮断による地域経済などへの影響	□ 大	□ 中	■ 小	1					
		防災計画上の位置づけ	□ あり	■ なし		0					
		小計									6
	(20)	効率性	費用対効果(B/C)	□ B/C2.0以上	■ B/C1.0以上2.0未満	□ B/C1.0未満	B				7
		早期発現度	■ 3年未満	□ 3年以上5年未満	□ 5年以上	7					
		流域の総合調整	□ あり	■ なし		0					
		小計									14
	(25)	緊急性	最寄の保全対象までの距離	□ 50m未満	■ 50m以上200m未満	□ 200m以上	B				4
		地形、地質の状況	■ 火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破砕帯かつ地すべり地形	□ 火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破砕帯	□ その他	3					
		平均溪床勾配(平均山腹勾配)	■ 10°以上(30°以上)	□ 5°～10°未満(20°～30°未満)	□ 5°未満(20°未満)	3					
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	□ なし	■ あり(概ね満砂)	□ あり(ポケットあり)	3					
		危険地区危険度	□ Aランク	□ Bランク	□ Cランク	■ なし					0
		小計									13
(20)	計画	地域からの要望	□ 地域住民活動強い	■ 市町村要望有り	□ 特に要望ない	B				7	
	熟度	事業情報の共有	□ 関係者以外にも周知	■ 関係者中心に周知	□ 特に周知していない					3	
	住民参加の状況	□ 住民が直接参加	■ 住民市町村意見を反映	□ 住民意見反映していない	3						
	小計									13	
費用対効果(B/C)		1.66			評価の合計				B	61	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該地は、昭和37年から40年にかけて緊急治山事業及び復旧治山事業により谷止工(コンクリート)等4個を施工し、溪流の安定を図ってきた。その後、経年変化等により溪流の荒廃が進行し、土砂が流出したため、平成7年度、平成22年度に県単治山事業により谷止工(コンクリート)を4個施工している。平成23年5月豪雨の際、再度、土砂の流出が見られたことから、地域から対策の要望が出されている。									
	地域からの要望経緯	平成24年7月に地元要望を受けて村から事業要望が出される。									
	事業説明等の経緯	詳細設計が出来次第、地域住民への説明会を開催する予定(実施時期:平成25年8月を予定)。									
	環境・景観への配慮項目	特になし。									
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。									
	特記事項	特になし。									
地域の合意形成	■ 全員賛成			□ 概ね賛成	□ 過半数賛成	□ 動向不明					
部意見	豪雨の度に、溪流沿いの侵食、崩壊が進んでおり、次期出水時に下方の保全対象に土砂流出、流木被害が発生するおそれがあるため、対策工の実施が必要である。				行政改革課意見	必要性は認められる。					